上毛新聞
発行所
㊐上毛新聞社
前橋市南町90 〒371
電話前橋(0272)41(代表)
振替・休日　電話
(販売・広告) 5079
(庶務) 4343,4344
(社説) 4345
(出版) 4347

県央に「新都市」構想

前橋・高崎・玉村の二千ヘクタール

官庁街や国体会場

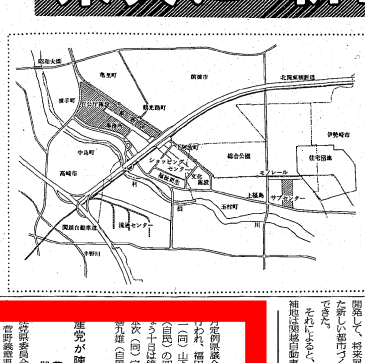
県土太郎と地域振興懇話会が一体となって昭和七十年を目標にした「県央地域における新しい都市づくり」構想を進めている。前橋市南部、高崎市東部、佐波郡玉村町にまたがる二千ヘクタールの大全開発地域に、幾多の公害問題を克服した「歴史国体」の主会場を含む総合運動公園の建設、将来の県庁の移転を考える官公庁集団化の構想などが、近い将来、具体的に検討されるとみられる。

前橋、高崎を中心とする県央地域は県の政治、経済、文化などの中心として、開発を期する必要があればやがて、近い将来、開発総合地域、高崎新線、北関東横断道路などの幹線が通過した地域は、第一期の開発地域として、将来県庁のうえたった新しい都市づくりの構想が浮かんできた。

それによると、県央都市の候補地は前橋市南部、広域・産業開発地帯の建設、五十八年の開発用地造成開発、五十八年の「新五十八年まで」で住宅群の手がなどなどつくり、住宅、レクリエーション施設、物流基地、文化・産業センター、物流センター、総合文化センター、総合体育館などを含んでいる。

県土太郎と地域振興懇話会は、県央地域における新しい都市づくり構想を進めている。前橋市南部、高崎市東部、佐波郡玉村町にまたがる二千ヘクタールの大全開発地域に、幾多の公害問題を克服した「歴史国体」の主会場を含む総合運動公園の建設、将来の県庁の移転を考える官公庁集団化の構想などが、近い将来、具体的に検討されるとみられる。

長期的にも有数な農用地をつぶしてつくるというミニニュータウン構想だけに、大きな論議を呼びそうだ。



不況の断面 6

深刻な職安窓口

就職環境、最悪ペース

求人停滞で求職者に焦り

「就職したい」と、職を求める若い職業安定所の窓口にあふれている。

職職を希望する求職者の数は、オイルショック以降の不況を反映して前年の二倍をだっている。一方で企業の求人数は縮小傾向にあり、職業安定所は、職業紹介の状態にあり、職業窓口にあふれる求職者の実例は、〝やせり〟さえ感じられる状況である。

六月の例、前職業安定所にいわれた「当面」にわたって行われる「失業窓口」なお、なお、職業を希望する求職者の数は、オイルショック以降の不況を反映して前年の二倍をだっている。一方で企業の求人数は縮小傾向にあり